



## 平成27年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年2月9日

上場会社名 株式会社CEホールディングス 上場取引所 東 札  
 コード番号 4320 URL http://www.ce-hd.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉本 恵昭  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理担当 (氏名) 松澤 好隆 TEL 011(861)1600  
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月9日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年9月期第1四半期の連結業績（平成26年10月1日～平成26年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年9月期第1四半期	1,299	△26.6	△83	ー	△65	ー	△131	ー
26年9月期第1四半期	1,770	37.6	167	28.9	183	41.4	100	38.7

(注) 包括利益 27年9月期第1四半期 △117百万円 (ー%) 26年9月期第1四半期 93百万円 (31.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年9月期第1四半期	△36.85	ー
26年9月期第1四半期	28.21	26.85

(注) 27年9月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年9月期第1四半期	5,070	3,538	68.9
26年9月期	5,450	3,723	67.9

(参考) 自己資本 27年9月期第1四半期 3,496百万円 26年9月期 3,701百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年9月期	ー	0.00	ー	20.00	20.00
27年9月期	ー				
27年9月期(予想)		0.00	ー	17.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 26年9月期期末配当の内訳 普通配当 15円00銭 東京証券取引所市場第一部指定記念配当 5円00銭

### 3. 平成27年9月期の連結業績予想（平成26年10月1日～平成27年9月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,639	△27.9	153	△80.6	160	△80.2	82	△82.7	23.12
通期	8,273	10.1	781	7.9	792	3.6	454	2.0	127.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー 社、除外 ー 社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年9月期1Q	3,703,700株	26年9月期	3,703,700株
② 期末自己株式数	27年9月期1Q	140,064株	26年9月期	140,064株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年9月期1Q	3,563,636株	26年9月期1Q	3,563,636株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	7
第1 四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	9
4. 補足情報 .....	10
(1) 生産、受注及び販売の状況 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済対策や日本銀行の金融緩和策を背景に、企業収益に改善の動きが見られるなど、景気は緩やかな回復基調にあるものの、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動により、個人消費の落ち込みが長期化しており、先行き不透明な状況となっております。

ソフトウェア業界におきましては、市場競争が激化する中、企業のソフトウェア投資は緩やかに回復し、受注ソフトウェアを中心に改善が見られるなど、全体としては底堅く推移しております。

当社グループが事業を展開しております医療情報システム業界におきましては、平成26年度診療報酬改定率が全体で+0.1%となるものの、消費税率引き上げに伴う医療機関のコスト増補填分を除いた実質ではマイナス改定となり、医師や看護師の不足・偏在化が続くなど、医療機関を取り巻く環境は厳しい状況が続いております。一方、医療・介護の総合的な確保のための事業を支援するため、医療介護総合確保推進法に基づき、各都道府県に「地域医療介護総合確保基金」（医療分：904億円、介護分：724億円）が設置され、ICTを活用した医療情報連携ネットワーク事業等、ICTの活用が期待される事業計画も出始めております。また、医療の質向上や効率化に寄与する統合系医療情報システムの普及が進む中、今後も同基金を活用した医療ICT関連事業の推進、とりわけ電子カルテシステムや地域医療連携システムの普及推進が期待されております。

このような状況の中、当社グループの主力事業である電子カルテシステム事業におきましては、地域における医療課題の解決を図るため、平成21年度から平成24年度補正予算によって各都道府県に設置された「地域医療再生基金」対象事業の計画期間が、平成26年3月末をもって概ね終了したことや、消費税率の引き上げ等から、医療機関においては、医療情報システムへの投資に対し一時的に動向を見守る状況となりました。また、第1四半期連結会計期間に見込んでいた新規ユーザーの売上が第2四半期連結会計期間に一部ずれ込むこととなりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高1,299百万円（前年同期比26.6%減）となりました。利益面におきましては、売上高の減少により固定費を吸収できず、売上総利益173百万円（前年同期比54.8%減）、営業損失83百万円（前年同期営業利益167百万円）、経常損失65百万円（前年同期経常利益183百万円）となり、繰延税金資産の一部が減少したことによる法人税等調整額の計上等の結果、四半期純損失は131百万円（前年同期四半期純利益100百万円）となりました。また、受注状況につきましては、受注高1,131百万円（前年同期比25.2%減）、受注残高2,716百万円（前年同期比11.0%増）となりました。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

#### 〔電子カルテシステム事業〕

電子カルテシステム事業は、「MI・RA・I sユーザーフォーラム[1]」の活動等を通じてユーザーニーズの把握に努め、製品の機能強化に取り組むとともに、品質マネジメントシステムの構築を継続的に推進し、顧客満足度の向上並びに製品・サービスの品質確保を図ってまいりました。主力の電子カルテシステム「MI・RA・I s / P X」などの医療情報システムの販売が堅調に推移いたしました。健康・医療ソリューション「Health Clover（ヘルスクローバー）[2]」につきましては、医療現場のニーズに応えるべく、さらなる機能拡張やサービス充実を図り、「電子カルテ／地域医療連携ソリューション」とともに、政府諸施策を見据えながら販売活動に取り組んでまいりました。また、医療情報システムの受託開発につきましては、地域中核病院を中心に継続的に日本電気㈱から受注し開発・導入作業を行ってまいりました。

当社グループの大半を占める電子カルテシステム事業の業績につきましては、前記の状況により、受注高1,115百万円（前年同期比26.0%減）、受注残高2,716百万円（前年同期比11.0%増）、売上高1,279百万円（前年同期比26.9%減）、セグメント損失48百万円（前年同期セグメント利益186百万円）となりました。

#### 〔その他〕

その他におきましては、高齢者向け安否／安心連絡システム「安タッチ（あんタッチ）[3]」を中心に、高齢者向け医療・健康関連システムの提供を推進してまいりました。また、全世代に発信するヘルスケア関連情報サイト「Mocosuku（もこすく）[4]」のサービス領域拡大を図るとともに、ユーザーニーズを捉えた記事を配信し、記事内容にマッチした誘導リンクを配置することにより、アクセス数の増加、ひいてはサイト価値の向上につなげるべく取り組んでまいりました。

なお、「Mocosuku」を運営する㈱Mocosuku（旧商号：㈱CEリブケア）につきましては、サイトのサービス領域拡大のため、平成26年11月に増資を実施しております。

その他の業績につきましては、事業拡大の準備段階でもあり、受注高16百万円（前年同期比223.4%増）、受注残高なし（前年同期受注残高なし）、売上高20百万円（前年同期比4.6%増）、セグメント損失10百万円（前年同期セグメント損失20百万円）となりました。

- [1] MI・RA・I sユーザーフォーラム ㈱シーエスアイの電子カルテシステム「MI・RA・I sシリーズ」のユーザーが主体となって運営している情報交換の場であり、より使いやすく、充実したシステムへと発展することを旨とし、研究会や見学会などの活動を定期的に行っている。
- [2] Health Clover (ヘルスクローバー) 医療機関の情報システムと患者・その家族の携帯電話・モバイル情報端末を結ぶ相互コミュニケーションサービス。医療機関からは各種案内や健康コンテンツ等の提供を行う。患者は診療予約ができる。また、電子カルテシステムと連携し、処方履歴の参照等も可能となる。
- [3] 安タッチ(あんタッチ) 高齢者向け安否連絡システム。高齢者がiPadの画面ボタンをタッチするだけで、離れて暮らす家族等へ、安否情報(日々の見守り情報)をメールで連絡することができる。
- [4] Mocosuku(もこすく) ヘルスケア関連情報サイト。「妊娠と出産」に関する情報のほか、「家族と暮らし」「健康と病気」など、「(Mo)もっと (co)幸福に (su)健やかに (ku)暮らす」ことを望む全ての人に、役立つ情報を提供している。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は5,070百万円となり、前連結会計年度末に比べ379百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が400百万円減少したことによるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は1,532百万円となり、前連結会計年度末に比べ194百万円減少いたしました。これは主に未払法人税等が218百万円減少したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は3,538百万円となり、前連結会計年度末に比べ184百万円減少いたしました。これは主に四半期純損失131百万円の計上及び剰余金の配当71百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

わが国経済の今後の見通しに関しましては、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動の長期化による消費者マインドの低下や海外景気の下振れなど、景気を下押しするリスクは残るものの、雇用・所得環境の改善が続く中、各種政策の効果もあり、緩やかに回復していくことが期待されます。

当社グループはこのような環境の中、電子カルテシステム事業におきまして、品質向上・顧客満足度向上のため、品質マネジメントシステムのさらなる推進を図るとともに、「MI・RA・I sユーザーフォーラム」を通じたユーザーニーズの把握や、現場医師からの意見・監修等により、主力製品である「MI・RA・I s/PX」を中心に継続的な機能強化を行ってまいります。また、販売面におきましては、直接販売に加え、販売提携先との連携を強化することにより、積極的な受注活動を展開するとともに、受注物件の導入作業を進めてまいります。なお、受託システム開発を行う連結子会社㈱ディージェーワールドは、平成27年3月6日を効力発生日とし、同社を存続会社、非連結子会社である㈱シーエスアイ・テクノロジーを消滅会社とする吸収合併契約を締結いたしました。当合併を通じ、同社の財務改善を図るとともに、今後も受託システム開発事業の拡大に向け、積極的な営業活動の推進と組織の増強を推進してまいりたいと考えております。

その他におきましては、「安タッチ」などの高齢者向け医療・健康関連システムの拡販に努めるほか、ヘルスケア関連情報サイト「Mocosuku」のサービス領域拡大とサイト価値の向上に取り組んでまいります。なお、「Mocosuku」を運営する㈱CEリブケアにつきましては、ブランド力強化のための施策の一環として、同社のメインサービスであるヘルスケア関連情報サイト「Mocosuku」と社名を一致させ、平成27年2月2日に「㈱Mocosuku」へ商号変更しました。本商号変更を通じ、同社は、さらに付加価値の高いヘルスケア関連情報サービスを創造し、安全で安心な社会の実現に資するサービスの提供を目指して取り組んでまいります。

当社グループは、ICTを活用したコンシューマ向けヘルスケア関連サービスを新たな柱とすべく、今後も業務提携等を通じた当該サービス拡大への取り組みを積極的に推進してまいりたいと考えております。

以上により、平成27年9月期の連結業績見通しにつきましては、平成26年11月10日発表の「平成26年9月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
  
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
  
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,479,872	1,079,574
受取手形及び売掛金	705,886	718,564
商品及び製品	1,548	1,976
仕掛品	733,475	732,496
原材料及び貯蔵品	1,237	1,024
その他	243,876	258,931
貸倒引当金	△1,125	△419
流動資産合計	3,164,773	2,792,149
固定資産		
有形固定資産	398,019	390,329
無形固定資産		
その他	81,445	94,618
無形固定資産合計	81,445	94,618
投資その他の資産		
関係会社株式	1,143,142	1,107,201
その他	663,428	687,098
貸倒引当金	△440	△440
投資その他の資産合計	1,806,130	1,793,859
固定資産合計	2,285,595	2,278,807
資産合計	5,450,369	5,070,956
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	611,499	462,866
短期借入金	—	300,000
1年内返済予定の長期借入金	191,932	175,351
未払法人税等	218,983	914
賞与引当金	60,164	31,556
その他	271,226	208,584
流動負債合計	1,353,805	1,179,273
固定負債		
長期借入金	330,638	307,574
その他	42,692	45,377
固定負債合計	373,330	352,951
負債合計	1,727,135	1,532,224

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,136,590	1,136,590
資本剰余金	1,155,807	1,155,807
利益剰余金	1,473,610	1,262,755
自己株式	△76,008	△76,008
株主資本合計	3,690,000	3,479,145
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,449	16,890
その他の包括利益累計額合計	11,449	16,890
新株予約権	3,180	3,180
少数株主持分	18,603	39,516
純資産合計	3,723,233	3,538,732
負債純資産合計	5,450,369	5,070,956



(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成25年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成26年12月31日)
売上高	1,770,588	1,299,679
売上原価	1,386,620	1,126,254
売上総利益	383,967	173,425
販売費及び一般管理費	216,940	257,402
営業利益又は営業損失(△)	167,027	△83,977
営業外収益		
受取利息	74	74
受取配当金	1,544	1,613
受取保険金	6,594	—
持分法による投資利益	8,429	13,825
その他	1,791	5,337
営業外収益合計	18,433	20,851
営業外費用		
支払利息	1,815	1,319
その他	—	747
営業外費用合計	1,815	2,066
経常利益又は経常損失(△)	183,646	△65,193
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	183,646	△65,193
法人税、住民税及び事業税	53,268	17,400
法人税等調整額	37,706	40,695
法人税等合計	90,974	58,096
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	92,671	△123,289
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△7,868	8,045
四半期純利益又は四半期純損失(△)	100,539	△131,334
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△7,868	8,045
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	92,671	△123,289
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	898	5,440
その他の包括利益合計	898	5,440
四半期包括利益	93,569	△117,849
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	101,437	△125,894
少数株主に係る四半期包括利益	△7,868	8,045

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年10月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 (注) 3
	電子カルテ システム 事業				
売上高					
外部顧客への売上高	1,751,358	19,229	1,770,588	—	1,770,588
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	39	39	△39	—
計	1,751,358	19,268	1,770,627	△39	1,770,588
セグメント利益又は損失(△)	186,337	△20,745	165,591	1,435	167,027

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、通信機器販売事業、配置薬事業、健康食品販売事業及びヘルスケア関連情報サービス事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額1,435千円は、セグメント間取引消去31,234千円及び報告セグメントに帰属しない一般管理費△29,798千円であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年10月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 (注) 3
	電子カルテ システム 事業				
売上高					
外部顧客への売上高	1,279,558	20,121	1,299,679	—	1,299,679
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	5,646	5,646	△5,646	—
計	1,279,558	25,768	1,305,326	△5,646	1,299,679
セグメント損失(△)	△48,956	△10,902	△59,859	△24,118	△83,977

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ヘルスケア関連情報サービス事業等を含んでおります。

2 セグメント損失(△)の調整額△24,118千円は、セグメント間取引消去29,436千円及び報告セグメントに帰属しない一般管理費△46,167千円及びのれん償却額△7,387千円であります。

3 セグメント損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当第1四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年10月1日 至 平成26年12月31日)	前年同四半期比(%)
電子カルテシステム事業(千円)	1,121,295	102.5
その他(千円)	10,424	320.6
合計(千円)	1,131,720	103.1

- (注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
 2 生産実績は当期総製造費用で表示しております。  
 3 セグメント間の取引については相殺消去しております。

② 受注状況

当第1四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年10月1日 至 平成26年12月31日)			
	受注高(千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高(千円)	前年同四半期比 (%)
電子カルテシステム事業	1,115,424	74.0	2,716,683	111.0
その他	16,170	323.4	—	—
合計	1,131,595	74.8	2,716,683	111.0

- (注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
 2 セグメント間の取引については相殺消去しております。

③ 販売実績

当第1四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年10月1日 至 平成26年12月31日)	前年同四半期比(%)
電子カルテシステム事業(千円)	1,279,558	73.1
その他(千円)	20,121	104.6
合計(千円)	1,299,679	73.4

- (注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
 2 セグメント間の取引については相殺消去しております。  
 3 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年10月1日 至 平成26年12月31日)	
	金額(千円)	割合(%)	金額(千円)	割合(%)
総合メディカル㈱	—	—	185,917	14.3
社会福祉法人浴風会 浴風会病院	—	—	160,437	12.3
日本電気㈱	299,084	16.9	96,117	7.4
地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 日本海総合病院	718,382	40.6	16,846	1.3

本表の金額には、消費税等は含まれておりません。